

2021年4月8日

日本銀行松山支店

## 愛媛県金融経済概況

### 1. 概観

愛媛県の景気は、新型コロナウイルス感染症再拡大の影響による足踏み感が一部に残るものの、全体として持ち直しつつある。

すなわち、個人消費は、弱い動きもみられるが、全体として緩やかに持ち直している。住宅投資は、横ばい圏内で推移している。設備投資は、増加している。公共投資は、減少している。こうした中、生産は、下げ止まっている。雇用・所得をみると、弱めの動きがみられている。この間、企業の業況感は、幾分改善した。

### 2. 各論

#### (1) 需要項目別動向

公共投資は、減少している。

輸出は、下げ止まっている。

設備投資は、増加している。

個人消費は、弱い動きもみられるが、全体として緩やかに持ち直している。

大型小売店<sup>1</sup>販売は、持ち直している。コンビニエンスストア販売は、下げ止まりつつある。家電販売は、堅調に推移している。乗用車販売は、持ち直しの動きが一服している。

この間、主要宿泊施設および主要観光施設の入込みは、一部に持ち直しの動きがみられるものの、全体としては低調に推移している。

住宅投資は、横ばい圏内で推移している。

---

<sup>1</sup> 県内の百貨店、スーパー、ホームセンター等。

## (2) 生産

生産は、下げ止まっている。

### 業種別の生産動向

織 維	下げ止まっている。
紙 ・ パ ル プ	持ち直している。
化 学	持ち直している。
プラスチック製品	幾分持ち直している。
非 鉄 金 属	横ばい圏内の動きとなっている。
食 料 品	横ばい圏内の動きとなっている。
一 般 機 械	横ばい圏内の動きとなっている。
電 気 機 械	持ち直している。
輸送機械（造船）	低調に推移している。

## (3) 雇用・所得

雇用・所得をみると、弱めの動きがみられている。

有効求人倍率は、前月比上昇した。名目賃金は前年を上回り、常用労働者数は前年を下回った。

## (4) 物価

松山市の消費者物価（除く生鮮食品）は、前年を下回っている。

## (5) 企業倒産

企業倒産は、落ち着いた動きとなっている。

## (6) 金融情勢

実質預金、貸出金とも前年を上回っている。貸出約定平均金利は、前月比低下した。

以 上